小中学校のお手伝いをしていただけませんか？

学校支援ボランティア募集中

南小学校

水曜日　トイレ清掃指導や草取りを中心に活動
第３水曜　午前中に１時間程の環境整備
金曜日　図書館でカバー張りや掲示物の作製
図書館を季節に合った作品できれいに飾り付け
その他　健康診断やミシン、地域探検の授業の手伝い

北小学校

火曜日　低学年のトイレ清掃指導
水曜日　図書館サポートで、本の整頓、シール貼り、カバー張り、しおり作りなどの手伝い
木曜日　草取り、ガラス拭きなどの環境整備

西小学校

木曜日　草取り、溝掃除、落ち葉掃き、木の剪定などの環境整備
雨の日は１年生の掃除の手伝い　天井修理、手洗い場の掃除
図書館の手伝い（主にカバー貼り）
その他　健康診断の手伝いや運動会、地域探検の手伝い

中学校

金曜日　地域ふれあい清掃（１時間）
火曜日　図書館サポート
本の返却や整頓、掲示物作り（１時間）
その他　授業サポート
特別支援学級（国語、音楽、家庭、技術）のお手伝い
家庭科の保育園訪問引率

問合せ先　地域開放棟１階地域開放室　学校支援地域本部　☎75-4089
（火曜日から土曜日　午前８時から午後４時まで）

町史編さん室だより

秋祭り（豊年祭）

『大口村誌』によれば、秋祭りは明治初年には旧暦の８月19日におこなわれた地区があったこと、養蚕技術の向上で晩秋まで忙しくなったことから祭礼日が徐々に遅くなり、新暦の10月５日が15日となり、村誌が刊行された昭和10年頃には20日前後、村の南部では27日になりました。

昭和20年代から30年代になると、10月20日を祭礼日と定め、小学校は休校となり翌日に運動会がおこなわれ、昼食は前日のお祭りのご馳走を家族で食べたそうです。

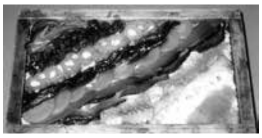
神事では、当番で馬の世話をし、その家を宿（やど）と呼び、当番を示す提灯を玄関に掲げる地区もありました。馬にお祭り用の刺繍飾りに「オマント花」と呼ばれる手作りの花（紙で花ビラを作り端に色を付けて、竹ひごに付けたもの）で飾りつけて、神社を出発し地区内を回ります。また、獅子屋形を引き回し、笛・太鼓による祭囃子を奏でながら同様に地区内を回り神社に戻ります。地区によっては、子どもの生まれた家などに獅子を持って玄関に入り、その家の繁栄を祈願します。

村誌では、食べ物についても「祭礼の前日より寿司をつけ、赤飯をたきその他さまざまなご馳走をして客を待ち受ける」とあります。寿司は「箱寿司（押寿司）」と呼ばれ、家庭によって異なりますがモロコなどの川魚（のちサバの半身）の寿司と、桜でんぶ、蓮根、しいたけ、カクフなどを具材にした箱寿司が作られました。

農村であった大口では、秋祭りは作物の実りに感謝しつつ、農閑期に体を休め、ご馳走を食べて鋭気を養う大切な年中行事でした。

今では地区によって、若干の違いはあるものの、10月中旬の日曜日におこなわれ、子ども神輿や獅子が地区を練り歩きます。祭囃子とともに獅子屋形で、地区内をまわるところもあります。

▲飾り馬の再現



問合せ先
町史編さん室　☎95-3464